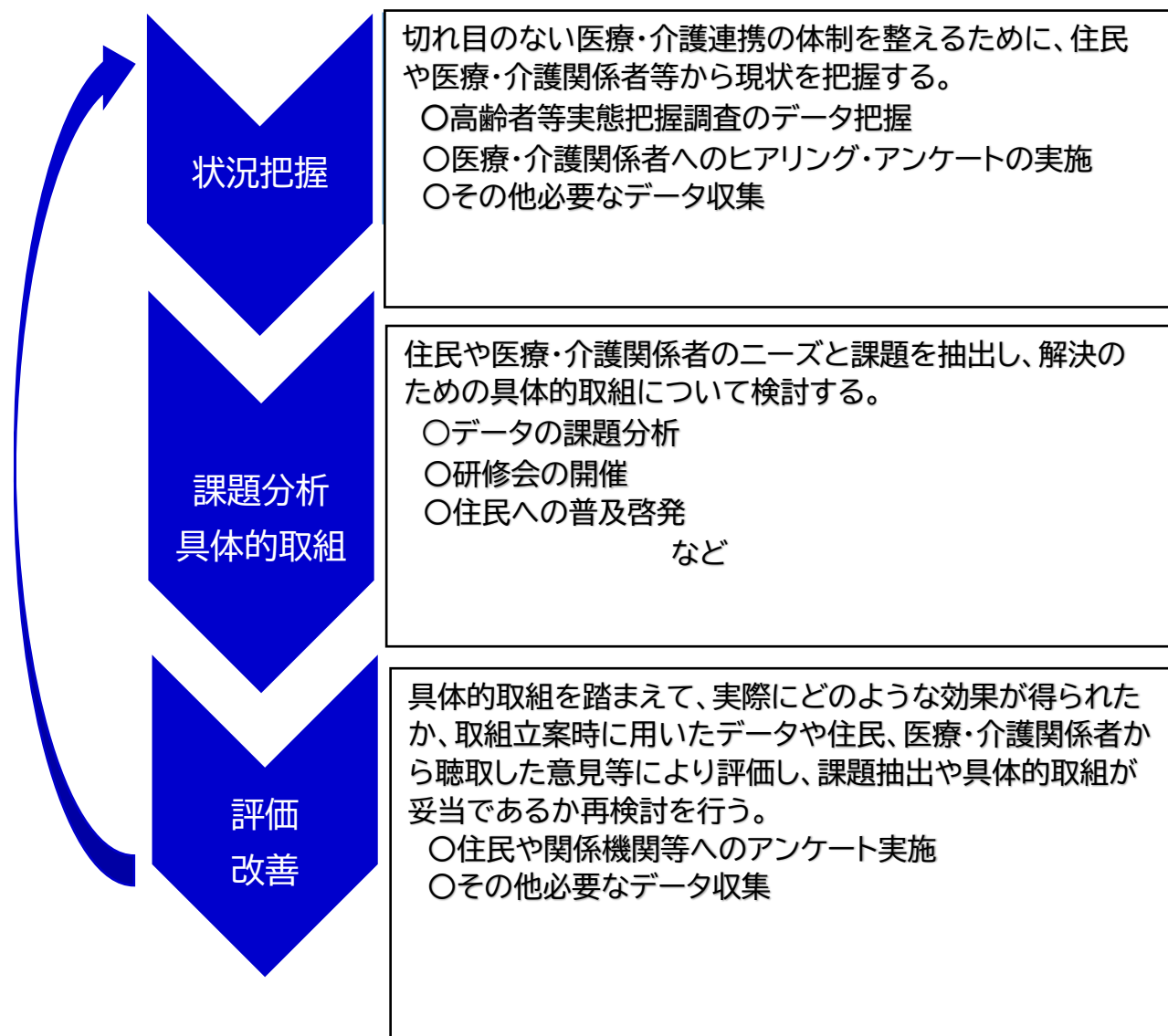


【地域の目指すべき姿(目標)】

大目標 本人または家族と医療・介護関係者が、本人の人生の最終段階における意思を共有し、円滑な連携を図ることで、本人が望む場所で最期を迎えることができる。

- 小目標**
- (1) 住民が看取り等について十分に認識・理解し、最終段階における意思を話し合うことができる。
 - (2) 医療・介護関係者が本人及び家族の意思決定を支援できる。
 - (3) 医療・介護関係者等及び本人・家族間で、人生の最終段階における本人の意思に対し、必要な連携を図ることができる。

【実施内容(計画)】



【進捗状況】 ※令和7年12月末時点

【令和6年度】

状況把握・課題分析

- 「看取り」に関連するデータの把握及び関係機関への調査の実施
 - ・居宅介護支援事業所:調査票によるアンケートの実施
 - ・医療機関:ヒアリングによる調査を実施
- アンケート・ヒアリング調査の集計及び分析を開始

具体的取組

- ACP人材バンク登録講師による講話を1市3町で5回開催
- 在宅を支える医療・介護者連携研修会の開催
 - 対象者:本庄児玉郡市内の医療関係者、介護保険事業者
 - 日 程:令和6年12月18日
 - テーマ:意思決定支援のはじめの一步 講 師:西熊谷病院 永井 栄子氏

【令和7年度】

状況把握・課題分析

- 令和6年度に実施したアンケートやヒアリング調査の結果より、分析及び地域課題を把握し対応策を検討(4月～6月)
 - <課題と対応策>
 - ①課 題:本人と家族間や、家族同士の話し合いが十分に行えていない、意向が一致していないケースがあり、支援に苦慮している
 - 対応策:ACPの普及啓発、意思決定支援(本人の望みを理解し、関係者で共有する)に関する取組 ※下記、具体的取組 参照
 - ②課 題:医療と介護の連携を図る中で、他の職種の役割を把握しきれていないことで調整に困難さを感じている
 - 対応策:多職種向けの意見交換や情報交換の場の設定(多職種連携) ※下記、具体的取組 参照
- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査において、ACPや看取りに関する情報を収集(10月～)

具体的取組の実施(7月～3月)

- 多職種連携、意思決定支援 …課題①・②
 - ・多職種連携関連事業研修会の開催
 - 対象者:本庄市児玉郡内の医療関係者及び介護関係者
 - 日 程:令和8年3月6日(予定)
 - テーマ:想いをつなぐACPと多職種連携のアプローチ 講 師:あおぞら診療所 院長・松戸市医師会 会長 川越正平氏
- OACPの普及啓発 …課題①
 - ・在宅医療連携拠点大沢氏による人生会議の講話を1市3町で6回開催(実施中)(継続事業)
 - ・人材バンク登録講師(医師)による講演会を1市3町で5回開催(実施中)
 - ・エンディングノートの作成・配布
 - ・広報やホームページへ、ACPIに関する記事を掲載
 - ・DVD上映、もしバナゲームの活用

評価・改善

- 各講座及び研修会でアンケートを実施し、対応策の妥当性を検証(評価)したうえで今後の取組について再検討

【令和8年度(案)】

状況把握・課題分析

- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画のための調査にて収集した情報や各講座及び研修会でのアンケート結果等を分析し地域のニーズに即した取組の再検討

具体的取組の実施

- 多職種連携関連事業研修会(2回目)の開催予定
 - 対象者:本庄市児玉郡内で勤務する医療・介護関係者
 - 日 程:令和8年4月中
 - 内 容:令和6年度に実施したアンケート結果等の報告、意思決定支援のための多職種連携に関する意見交換会
- ACP普及啓発に関する取組の継続